

# 社会貢献活動

当行は、明治35年の創業以来、我が国の経済発展と社会基盤の強化に寄与するという創業精神の下、長期信用銀行として社会的責任を果たすとともに、内外において種々の社会貢献活動を行って参りました。今後とも「良き企業市民」として幅広い分野で積極的な活動を続けて参りたいと考えております。

## (財)河上記念財団

当財団は、当行の元総裁、故河上弘一氏を追悼する記念事業として「青年層における学術の研究を奨励すること」を目的に昭和32年12月に設立されました。主な事業は、若手研究者を支援する工学研究助成、法学研究助成、法律・経済分野の懸賞論文募集及び外国人留学生に対する奨学金支給等で、設立以来、助成事業では約450件6億円の助成を行い、また懸賞論文は39回実施し受賞者は約730名に及んでいます。

## (財)興英会

当財団は、当行創立50周年記念事業の一つとして昭和29年12月に設立された育英奨学財団です。公益法人として広く一般のニーズに応え育英事業の業容を拡大し、これまで多くの社会有為の人材(平成10年6月末現在、累計636名)を育成して参りました。

なお、当財団は、昭和62年以降継続して文部大臣より「特定公益増進法人」であることの認定を受けております。

## 本支店における地域貢献活動

当行は国内の各支店においても、地元の一員としての自覚をもって主体的に社会貢献活動に取り組んでおります。

例えば、広島支店は平成9年6月、同店設立60周年記念事業の一環として、広島県広島市に対し世界文化遺産に登録されている原爆ドーム保護の為に資金の一部を寄付致しました。これは、広島県佐伯郡宮島町に対し厳島神社保護の為に資金の一部を寄付したのに続くものであります。

更に、神戸支店は震災犠牲者への鎮魂の意味と復興再生への夢を託す「ルミナリエ」(木製のアーチに電飾を取り付けて夜空を彩る光の彫刻芸術)の開催基金へ地元財界の企業とともに協賛致しました。

また福島支店では例年、支店長以下行員有志が地元商工会議所主催の清掃事業に参加しております。

なお、各支店では、地元に着した文化活動の一助にと、店頭ロビーのスペースを利用して、絵画展、写真展等の各種ロビー展を随時開催しております。

## IBJ財団

米国地域社会への貢献の一環として、平成元年12月に、在米邦銀による初めての財団として設立された当財団は、地域住宅サービス協会、ロスアンゼルス教師協会、米国地理学協会、米回国連協会等の米国における非営利法人に対する寄付活動を行っており、その基金総額は、当初の200万ドルから平成9年末には1,150万ドルに達しております。

こうした財団を通じた寄付活動のほか、当行の各拠点では、「良き企業市民」としてのボランティア活動にも積極的に取り組んでおります。

## マッチングギフト制度

当制度は、従業員自らが学校、病院等の非営利団体に寄付を行う場合、一定の条件を備えるものについて、企業が同額または一定の比率の上乗せを行うもので、従業員による地域への寄付を促進する手段として、米国企業には広く取り入れられているものです。当行では、全米5支店、1出張所、IBJトラストカンパニーを対象に実施しております。

## IBJ USA ケアーズ・デイ・プログラム

米国拠点は、昨年秋、本行の米国における業務開始25周年を記念して、低所得者向けの住宅供給ボランティア団体とIBJ USA ケアーズ・デイ・プログラムを共催、全米6拠点140名以上の本行スタッフが、住宅建設作業に参加致しました。

